

トヨ耐熱しん 第123種

石油燃焼機器用しん 取扱説明書

●しんの交換をする前に、必ずこの「取扱説明書」を読んで、正しくおこなってください。（しん交換のしかたがわからない場合は、販売店にご相談ください。）

商品コード	11005207
品名	ガラスシンクミタテ



T4963505999353

適合する機器の型式表

RR-GER25



JIS S 2038
石油燃焼機器用しん

品番：1355000680

替しんの型式名	トヨ耐熱しん第123種	種	類	普通筒しん
呼び寸法	φ65×2.5	からやきの可否	からやき可	

株式会社 **トヨトミ**

製造 SILVER SIM

1355000685

N-®

株式会社 **トヨトミ**

〒467-0855 名古屋市瑞穂区桃園町5番17号

お客様相談窓口

0120-104-154

受付時間 平日(月曜～金曜)午前9時～午後5時
※土・日・祝日は除く

FAX 052-857-1220
ホームページ <https://www.toyotomi.jp/>

■特に注意していただきたいこと(安全のために必ずお守りください)

ここに示した事項は **△注意** を表示しています。

△注意：〔この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が軽傷を負う〕可能性や物的損害の発生が想定される内容を示しています。 **!** マークは「指示」 **🚫** マークは「接触禁止」

△注意(CAUTION)

★適合する機器の確認

適合する機器の型式の呼びが合っていることを確認してください。予想もしない事故が発生するおそれがあります。



★保護具の着用

機器の分解時は、保護具(手袋など)を着用してください。誤ってけがをするおそれがあります。



★高温部に注意

必ずストーブを消火し、ストーブの温度が十分に下がってからおこなってください。やけどのおそれがあります。



★乾電池を取りはずす

必ずストーブの乾電池を取りはずしてからおこなってください。やけどや感電のおそれがあります。



★廃棄するとき

交換したしんは乾燥させてからビニール袋に入れて廃棄してください。廃棄処理の際、予想しない事故が発生するおそれがあります。灯油の廃棄処分は、灯油をお買い求めになった販売店にご相談ください。



お願い(NOTICE)

★しん取り付け後の確認

- しん上下操作をして、しんの上下が円滑にでき、しんの高さが規定寸法どおり均一にそろっていることを確かめてください。
- 対震自動消火装置を作動させて、しんが確実に下がることを確かめてください。
- 点火操作をして、正常に燃焼することを確かめてください。

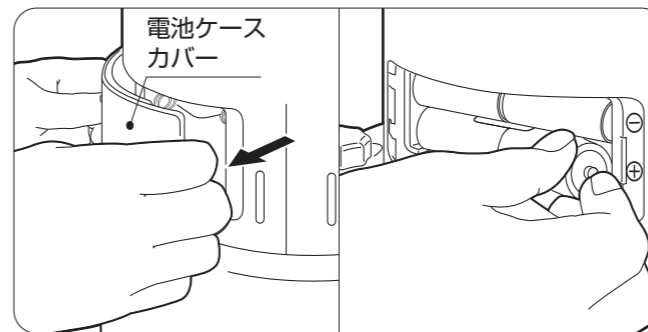
★変質灯油や不純灯油に注意

変質した灯油、不純灯油、汚れた灯油、水のまじっている灯油などを使用しないでください。異常燃焼や故障(点火しにくくなる、しんが下がらなくなる、火が消えなくなる、など)の原因となり、しんの寿命が短くなります。

★この耐熱しんの上端部は、特殊な材料の繊維を使用していますので、糸のほつれ程度を切るだけで先端を「はさみ」などで切らないでください。

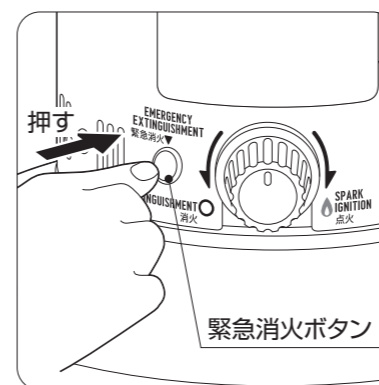
★しんを交換したときは、給油後、約20分以上待って、しんに灯油が十分に吸い上げられてから点火してください。十分に吸い上げられていない状態で点火しますと、しんを傷めます。

1 電池ケースカバーを取りはずし、乾電池を取りだしてください。

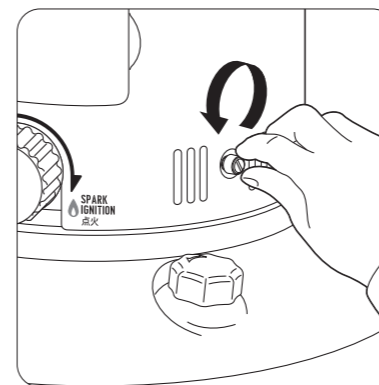


[単二形乾電池 4個]

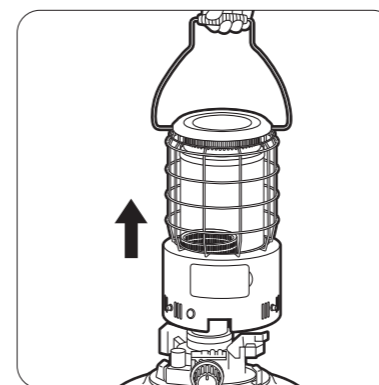
2 対震自動消火装置を作動させて、しんをさげてください。



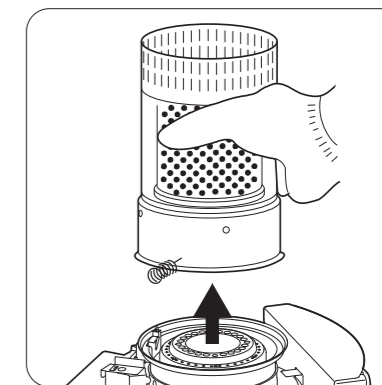
3 本体の止めねじ3本を取りはずしてください。



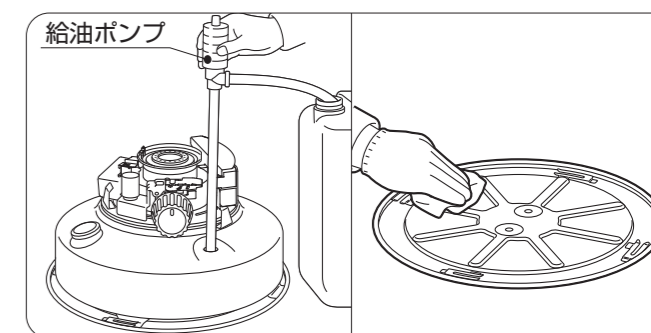
4 つり手をゆっくり真上に持ち上げて、本体を取り外してください。



5 燃焼筒を取りはずしてください。

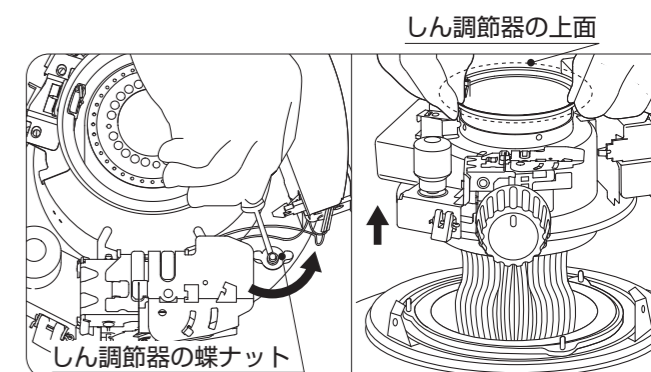


6 給油口ふたを取りはずし、市販の給油ポンプの吸込側を油タンクに差し込んで、油タンク内の灯油を抜き取ってください。



- 残った灯油は、布切れなどで吸い取ってください。
- 油タンクを左回転させて置台をはずし、置台の上のほこり、ごみを取りのぞいてください。取りはずした置台は、必ず元通りに取り付けてください。置台を取り付けて使用しないと、火災など予想しない事故が発生するおそれがあります。

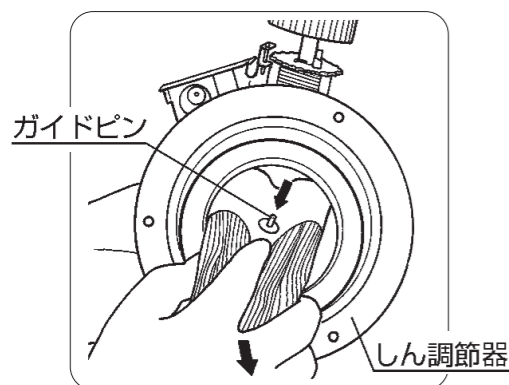
7 しん調節器の蝶ナット3本をはずし、しん調節器を上を持ち上げて取りはずしてください。
●蝶ナットが回しにくい場合は、下図のようにマイナスドライバーなどを使って、回して取りはずしてください。



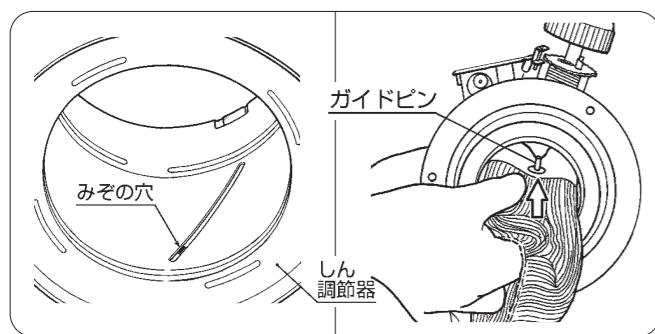
お願い

しん調節器を取りはずして置くときは、製品組付け状態と同じようにしん調節器の上面を上にしてください。

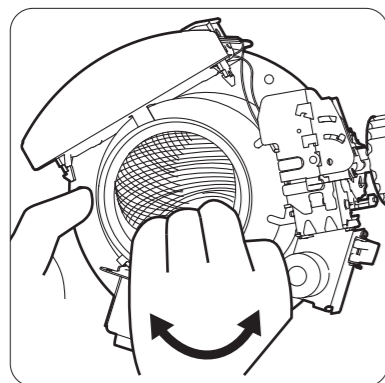
8 古いしんを4つ折りにするようにして、しんのガイドピン(3箇所)をしん調節器からはずし、しんを下へ引き抜いてください。



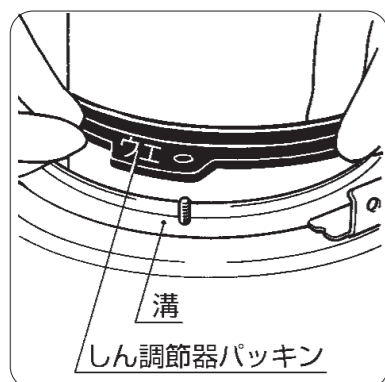
9 新しいしんを軽く4つ折りにして、しんのガイドピンをしん調節器の内側のみその穴(3箇所)に差し込んでください。
●しん調節つまみを軽く回すと、差し込みやすくなります。



10 しんを、しん調節器の内側に指で押しつけてなつかせてください。充分になつかせないと、対震自動消火装置が作動したときに、しんが下がらないことがあります。

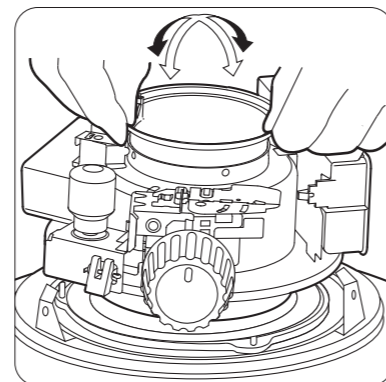


11 しん調節器パッキンが正しくセットされているか確認してください。しん調節器パッキンの表示(ウエ)位置を合わせて取りつけてください。

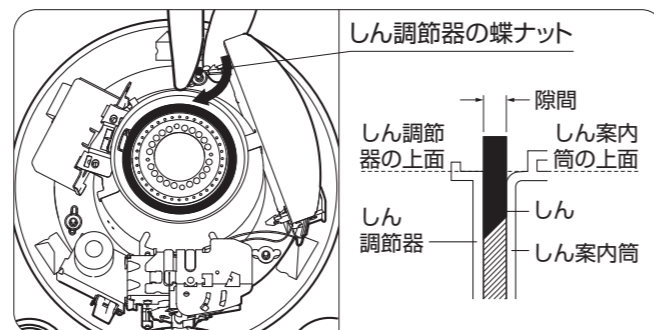


12 しんの下部を広げて、しんをなつかせるために、しん調節器を前後左右に動かしながら油タンクにはめ込んでください。

お願い
しんの先端は確実に油タンクに入っており、しんのほつれや糸が、油タンク外に出ないようにしてください。

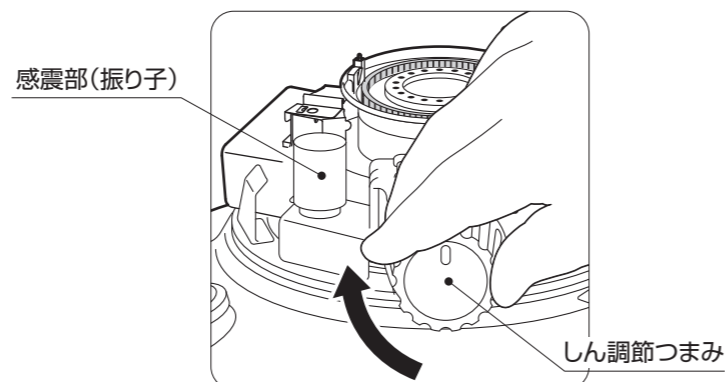


13 しん案内筒としん調節器の隙間が全周揃っている所で、1ページの7項ではずしたしん調節器の蝶ナット3本で均等に締めてください。一箇所のみを締め付けるのではなく、均等に徐々に締めてください。しん調節器の上面と、しん案内筒の上面の高さが、揃っていることを確かめてください。(揃いが悪いと炎が片燃えします。)

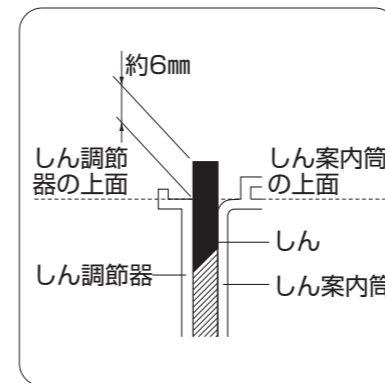


14 しん調節つまみを右「↻」に止まるまで回して、しんを上げてください。感震部(振り子)を倒して対震自動消火装置を作動させ、しんがスムーズに確実に下がるかどうか、2~3回確認してください。

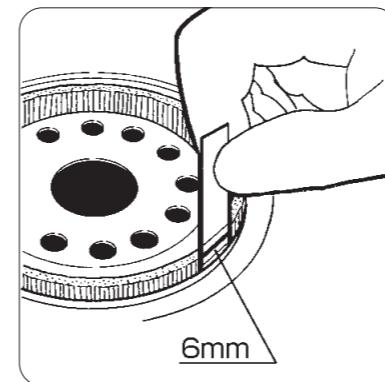
お願い
しんの上下がスムーズでない場合は2ページの10項からやり直してください。



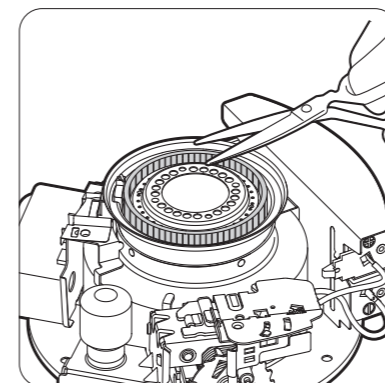
15 しんをいっぱい上げたとき、しんの高さは標準で、約6mmです。しんの高さが均一に揃っていることを確かめてください。



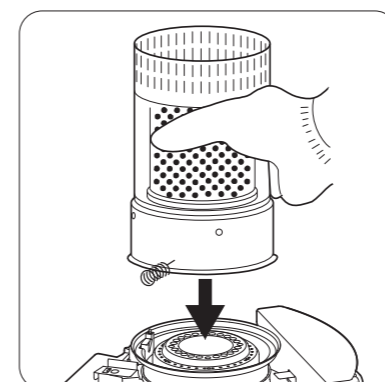
●3ページのゲージを使用して、しんの高さを確認してください。



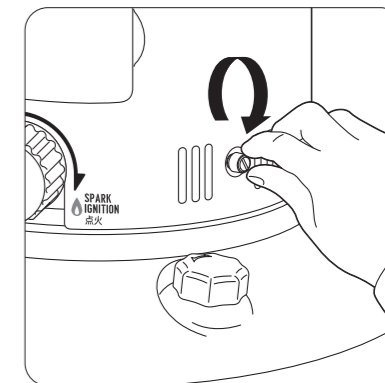
●しん上端のほつれ等は、はさみで切り揃えてください。



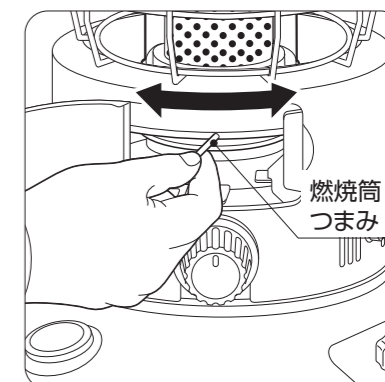
16 燃焼筒をしん調節器の上のせてください。



17 本体をかぶせ、本体の止めねじ3本で取り付けてください。



18 扉を開け、燃焼筒つまみを持って軽く左右に2~3回動かし、燃焼筒がしん調節器の上に正しくセットされているか、しんの上のっていないかを必ず確かめてください。



19 乾電池を、電池ケースに⊕⊖を正しく合わせて入れてください。

20 油タンクに給油してから、20分以上待ってしんに灯油が十分に吸い上げられてから点火操作をして、各部がスムーズに動き、正常に燃焼することを確認してください。

■しん高さ確認ゲージ

しんの高さを測るときは下図を破線の部分で切り取ってください。

